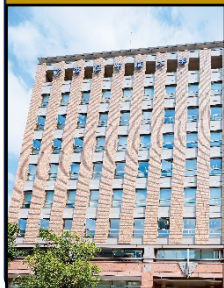


心理支援職のキャリア形成



【池袋キャンパス】健康メディカル学部 心理学科 講師

百瀬 良 Momose Ryo

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 心理支援職・キャリア形成・発達

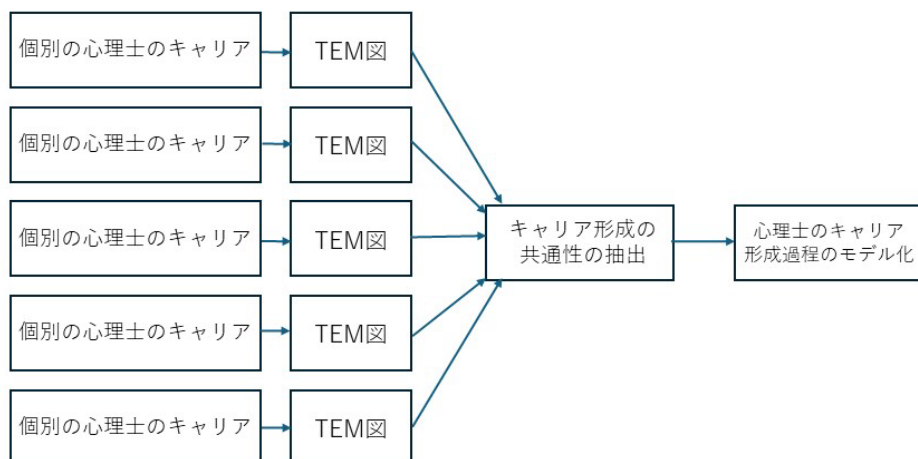


研究の概要

SDGs 目標 3 : すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに

心理支援職のキャリア形成は、その多様性故に、これまであまり研究されておらず、典型的なモデルが存在しない。臨床心理士・公認心理師を養成する上で、キャリア教育は重要な課題であるが、ロールモデルがないことから、キャリア形成の道筋を示すことができていない。多様なキャリア形成過程の分析を蓄積し、その背後にある共通性と個性を見出すことで、キャリア形成に関する基礎的資料を得ることができるものとする。これまでに、研究職、医療領域の常勤職、複数領域の兼職など、様々な領域、雇用形態の心理士のキャリア形成を複線径路・等至性モデルを用いて整理、分析してきた。現時点で、約半数を占める非常勤職を組合せるキャリア形成について、共通性として抽出した「リアリティショック」、「経験を積むため、自分の志す臨床ができるような場を探索するためなどの兼職」、「心理支援職としてのキャリア構築へのライフイベント経験の取り込み」といった必須通過点や分岐点、「自分の個性・適性を加味したキャリアの選択」、「人が生きることを支える営みとして心理支援をライフワークとする」という2つの等至点からなるキャリア形成過程を明らかにしてきた。



個性の中から、共通性を見出し、心理士のキャリア形成過程を明らかにする。

ライフイベントはキャリア形成にいかに関与するのかを踏まえて明らかにする。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

臨床心理士・公認心理師を養成する上で、キャリア教育は重要な課題であるが、心理支援職のキャリアは領域ごと、勤務形態ごとに個性が高く、キャリア形成過程は異なることが推測される。多様なキャリア形成過程の分析を蓄積し、その背後にある共通性と個性を見出すことで、キャリア形成に関する基礎的資料を得ることができると考える。キャリア形成の中でスーパーバイザーを引き受けることの意味などにも研究を広げ、国民のメンタルヘルスの予防、向上に貢献する心理支援職の専門性の向上に寄与する研究を展開している。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

- ・心理支援職のキャリア形成－医療領域常勤職のキャリア形成とライフイベント－
- ・心理支援職のキャリア形成－常勤職から複数領域の非常勤職を兼務する働き方へ－
- ・心理支援職養成大学院における大学院生に対するスーパービジョンモデル